

LED シーリングライト CL8DL-IN CL12DL-IN CL14DL-IN

取扱説明書

主な機能

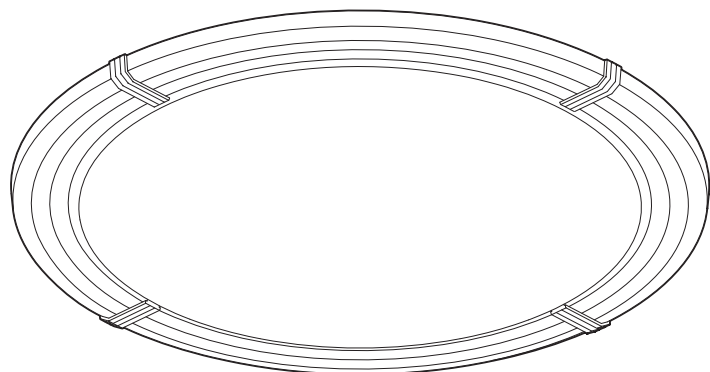
- 調光10段階
- 調色11段階
- シーンセレクト
- メモリ点灯
- るすばん機能
- おやすみ/点灯タイマー
- チャンネル切り替え (2チャンネル)

もくじ

ページ

安全上のご注意	2
各部の名称	4
取り付け	7
本体、スペーサーの取り外し	9
明かりをつける	10
タイマーを使う	13
お手入れについて	17
故障かな?と思ったら	18
仕様	19
保証とアフターサービス	19
保証書	裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY



取り付け可能な天井配線器具形状

天井からの出し	20mm以上24mm未満	10mm以上14mm未満
形状	角型引掛シーリング 丸型引掛シーリング・ローゼット フル引掛ローゼット 丸型フル引掛シーリング	埋込引掛ローゼット 埋込ローゼット (耳つき) 埋込ローゼット (耳なし)

下記への取り付けは工事店・電気店にご相談ください。

配線だけのもの	アウトレットボックスのもの

※電気工事士の資格が必要です。

保証書付

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見る事ができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

IRIS OHYAMA

安全上のご注意

安全にご使用いただくために下記の事項を必ずお守りください。

※ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

※配線器具の交換は有資格者による電気工事が必要です。資格のない方の工事は法律で禁止されています。

※ここに示した「警告」または「注意」項目は、お使いになる方や周囲の方々への危害防止および財産の損害防止を目的としたものです。いずれも安全に関わる重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



してはいけない「禁止」



しなければならない「指示」



注意を促す



警告

 改造	器具を改造したり、部品を交換しない 器具落下・感電・火災などの原因になります。		器具の取り付けは確実に行う 落下・破損・けがの原因になりますので、本書にしたがい確実に行ってください。
 調光器	調光器を使用しない 破損や発煙の原因になります。 	 必ず実施	異常を感じたら速やかに電源を切る すぐに電源を切り、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。 交流100Vで使用する 火災・感電の危険がありますので、定格電圧以外では使用しないでください。
 可燃物	可燃物で覆ったり、被せたり、近づけない 火災の原因になります。		清掃・取り付け・取り外し時は必ず電源を切る 感電の原因になります。



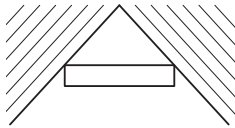
注意

 直視禁止	LED光源を直視しない 目の傷みの原因になる場合があります。		温度の高い場所で使用しない 火災の原因になりますので、高温の場所へは本器具を設置しないでください。
 接触禁止	点灯中・消灯直後は、器具に触れない やけどの原因になる場合があります。	 禁止	屋外や湿気の多い場所で使用しない 故障や感電の原因になりますので、屋外や湿気の多い場所では使用しないでください。
 禁止	破損した器具は使用しない 落下してけがの原因になります。破損した場合は修理に出してください。 温度が高くなる機器を近くに置かない 器具故障の原因になります。以下のような設置場所は避けてください。 ・エアコン吹き出し口近くへの設置 ・真下に発熱機器の設置(ストーブ・コンロ等) 器具を水洗いしない 火災・感電の原因になります。水につけたり、かけたりしないでください。(17ページ参照)	 必ず実施	薬品を使用しない 器具やカバーの変形、火災の原因になります。殺虫剤、かび取り剤などをかけないでください。 充電電池をリモコンに使用しない 照明器具の操作ができない場合があります。 年に1回は自主点検を実施する 長期間の連続使用による発煙・発火・感電等の事故を防ぐため、定期点検を実施してください。(19ページ参照) 設置後8～10年経つと、自然に内部劣化が進みます。 ※参考使用条件:周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯した場合。 (JIS C8105-1解説による)

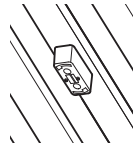
警告

●次のような場所には取り付けない

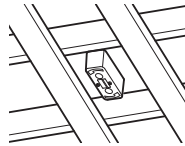
器具は天井取り付け専用です。
指定以外の場所に器具を取り付けると、
火災・感電・落下によるけがの原因となります。



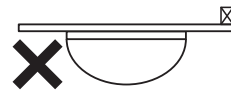
舟底天井



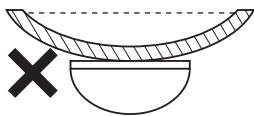
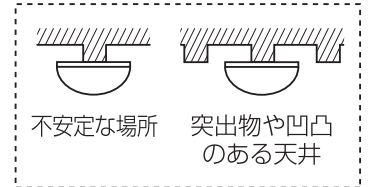
さおぶち天井



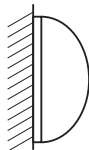
格子天井



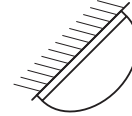
補強のない薄い天井
(ベニヤ板、石こうボードなど)



簡単にたわむ天井



壁面

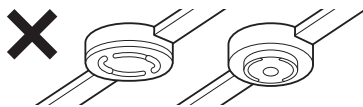


傾斜天井

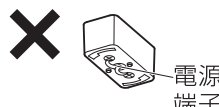


●次のような配線器具には取り付けない

火災・感電・落下してけがの原因となります。
配線器具の交換は、販売店・工事店にご依頼ください。
(配線器具の交換は資格が必要です)



ケースウェイに
取り付けている



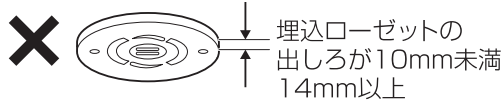
電源端子
露出タイプ



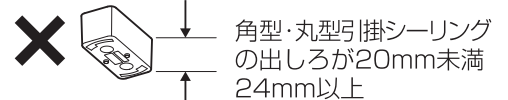
シーリング
ハンガー付



破損、または
ぐらつくもの



埋込ローゼットの
出しろが10mm未満
14mm以上



角型・丸型引掛シーリング
の出しろが20mm未満
24mm以上

るすばん機能についてのご注意

- るすばん機能を設定することにより、自動で点灯・消灯します。留守中でも在宅を装うことができますが、住居侵入や盗難などを阻止するものではありません。
損害が発生しても責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 壁スイッチを切ったり停電したりすると、るすばん機能は解除されます。

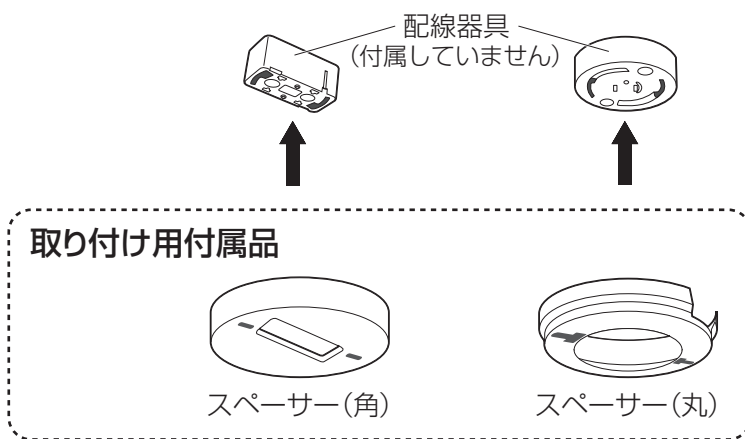
ご使用についてのお知らせ

- 1個の壁スイッチで2台以上の器具を操作しないでください。同時に切り替わらない場合があります。
- 付属のリモコンはアイリスオーヤマ製照明器具専用です。他のリモコンを使用する機器(テレビなど)には使用できません。
- 器具の近くで他の赤外線リモコン方式の機器やワイヤレス機器を使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 点灯直後や明るさ・光色を切り替えた直後などに、リモコン信号を受信しにくくなる場合があります。その際は少し時間を置いて、再度リモコンを操作してください。
- 3Dテレビを視聴しているときは、器具のリモコンが反応しにくくなる場合があります。
- 天井や壁、床の材質によっては、リモコンが反応しにくくなる場合があります。
- ラジオ、ワイヤレス方式の機器はなるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。
- この器具はリモコンで消灯しても、約0.5Wの電力を消費しております。るすばんタイマーを設定していない状態で長期間使用しない場合は、壁スイッチを切ってください。
- LED光源にはばらつきがあるため、同じ型式・形状の商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 照射距離が近い場合、照射面で光むらがある場合があります。
- この器具は、LED光源が内部に組み込まれているため、LED光源の交換はできません。
- 停電復帰時や、予期せぬごく短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。

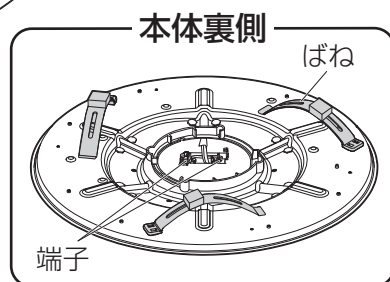
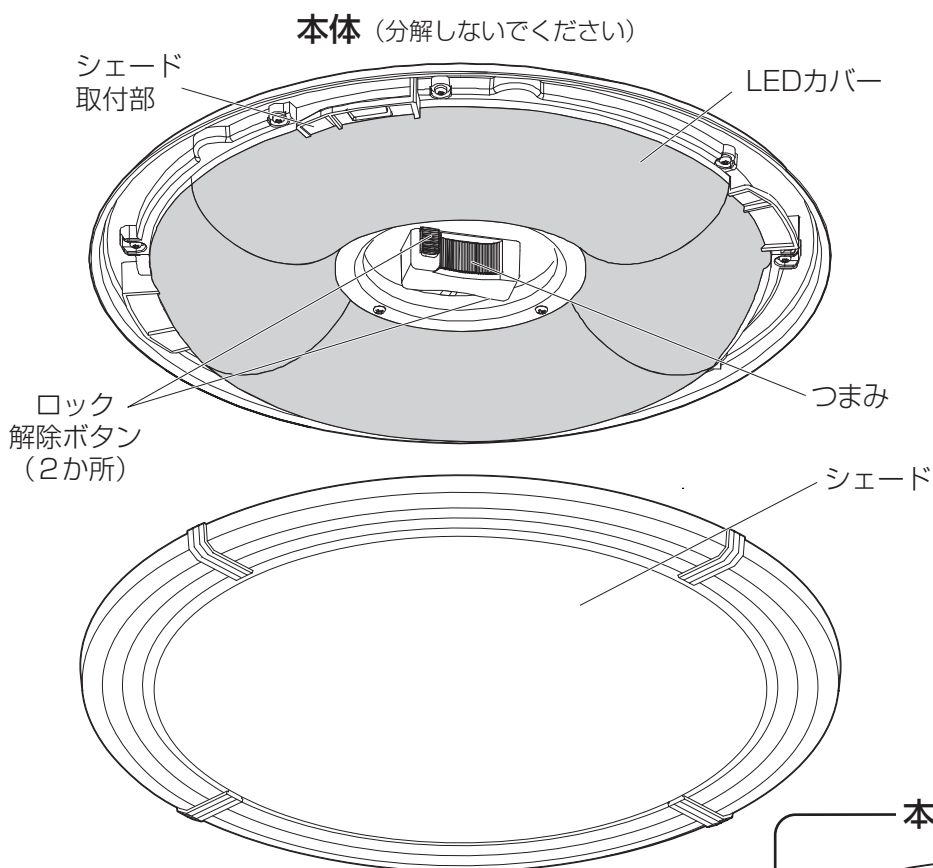
各部の名称

- 組み立てる前に下記の部品がすべてそろっていることを確かめください。
- 表記以外の部材は梱包材です。

本体



それぞれの配線器具に合ったスペーサーを取り付けることで、器具が取り付けやすくなります。
※一部の配線器具には取り付けられない(ゆるい、きつい)場合があります。その場合には、スペーサーは使用しないでください。



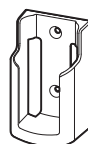
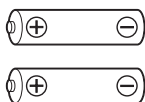
リモコン付属部品

●リモコン：1台

●単3形乾電池：2本
※動作確認用

●リモコンホルダー：1個

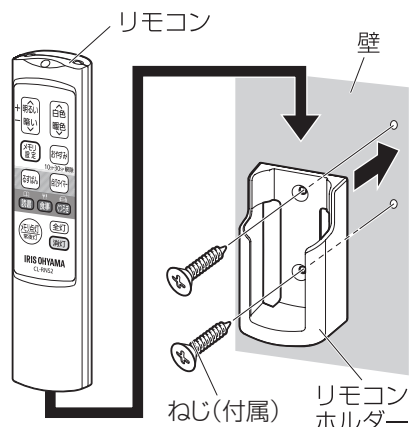
●ねじ：2本



リモコン収納のしかた

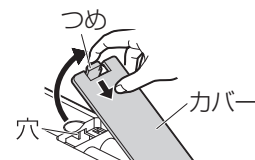
- リモコンホルダーを壁に取り付け、壁掛け収納ができます。

(※収納した状態では操作しないでください。)

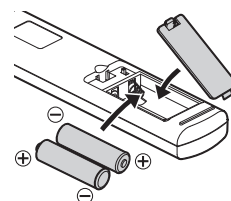


乾電池の入れかた

- 1 つめを押しながら、裏面のカバーを持ち上げる



- 2 表示に合わせて＋を間違えないように乾電池をいれ、つめの向きを合わせてカバーを閉める



- 電池の寿命は新品のアルカリ電池を使用した場合で約1年です。付属の電池は動作確認用なので、上記より早く消耗する場合があります。
- 電池を交換するときは、2本とも新品の単3形アルカリ乾電池に交換してください。
- 新旧、異種の電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しない場合は電池を外して保管してください。

リモコンボタンについて

①調光ボタン【明るい】

明かりを1段階明るくします。
ボタンの長押しで、明るさを連続調節できます。

②調光ボタン【暗い】

明かりを1段階暗くします。
ボタンの長押しで、明るさを連続調節できます。

③メモリ設定ボタン

好みの明るさを記憶させます。

④るすばんボタン

るすばん機能の設定と解除を行います。

⑤シーンボタン【読書】

読書のシーンに合わせた明かり(文字が読みやすい明かり)に調節します。

⑥メモリ点灯／常夜灯

メモリに記憶された好みの明るさで点灯(メモリ点灯)させたり、常夜灯を点灯させたりします。
ボタンを押すたびにメモリ点灯→常夜灯と切り替わります。
※出荷時に記憶されている明かりは全灯です。

⑦調色ボタン【白色(昼光色)】

明かりを昼光色(さわやかな明かり)に調節します。ボタンの長押しで、光の色を連続調節できます。

⑧調色ボタン【暖色(電球色)】

明かりを電球色(暖かな明かり)に調節します。ボタンの長押しで、光の色を連続調節できます。

⑨おやすみボタン

おやすみタイマーの設定と解除を行います。

⑩点灯タイマーボタン

点灯タイマーの設定と解除を行います。

⑪シーンボタン【食事】

食事のシーンに合わせた明かり(暖かな明かり)に調節します。

⑫シーンボタン【くつろぎ】

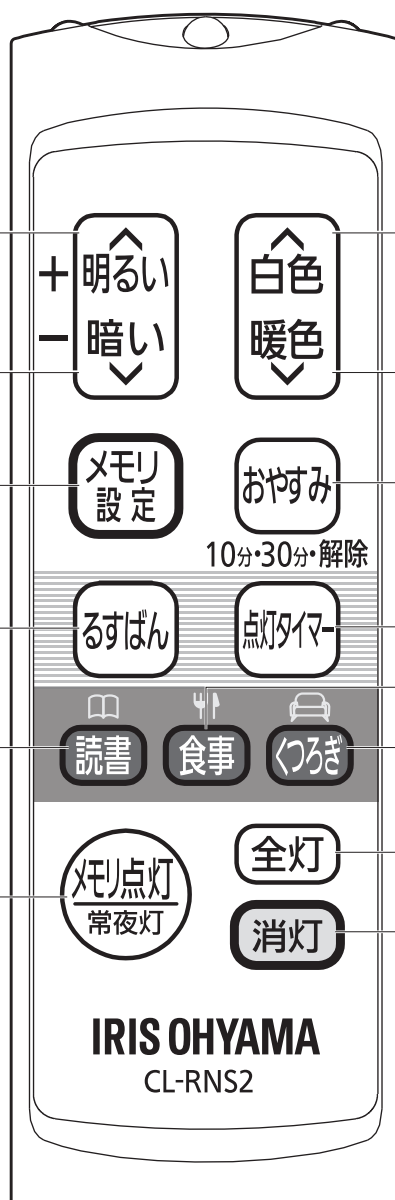
くつろぎのシーンに合わせた明かり(明るさを抑えた暖かな明かり)に調節します。

⑬全灯ボタン

100%の明るさで点灯させます。

⑭消灯ボタン

明かりを消灯させます。



チャンネル切り替えについて

※出荷時はch1に設定されています。

電池がリモコンに入っているのを確認してから、切り替えをしてください。

リモコンの裏カバーを外します。

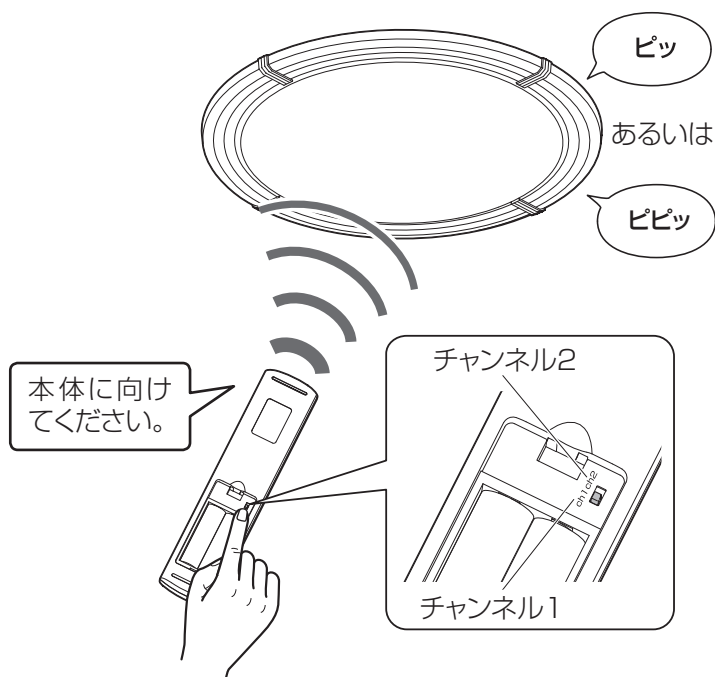
リモコンを本体に向けながら内側にあるスライドスイッチを動かしてチャンネルを切り替えてください。

チャンネルが切り替わると、本体から音がします。

ch1に切り替え:「ピッ」

ch2に切り替え:「ピピッ」

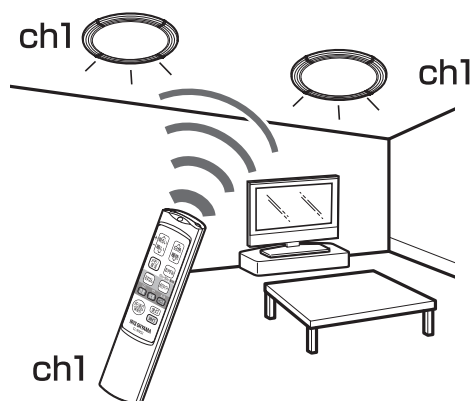
本体からの音を確認したら、リモコンの裏カバーを戻してください。



●複数の器具を1つのリモコンで操作する場合

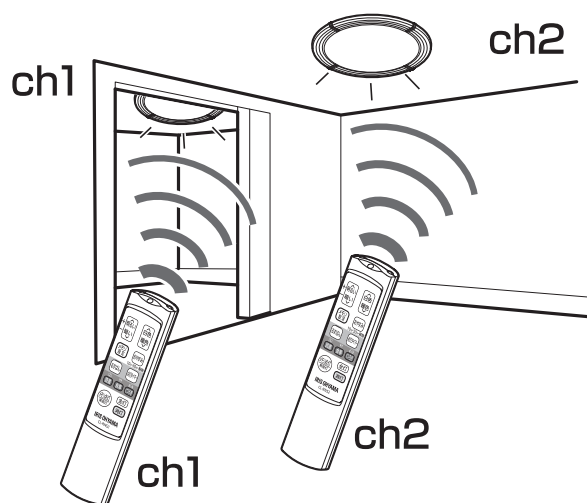
隣接する器具を同じチャンネルに設定します。

※器具間の距離やリモコン操作時の方向によっては同時に点灯しない場合があります。



●近くの器具を別々のリモコンで操作する場合

隣接する器具のチャンネルを別々に設定することでそれぞれ対応するリモコンでのみ操作できます。



ご注意

別の器具がリモコンの信号を受けると、チャンネルの設定が変わってしまいます。

設定を変更したい器具だけが信号を受けるとリモコンを向けて設定してください。

※ 個別の壁スイッチがあれば片方を切ったり、間に扉があれば扉を閉めたりすると効果的です。

取り付け



警告

必ず電源を遮断してください。

1 天井についている配線器具(引掛シーリング・ローゼット)の寸法と形状を確認する



注意

高所での作業になります。
必ず足元の安全を確保してから行ってください。

※下図以外の配線器具、または配線器具が無い配線だけのものは取り付けができません。

電気店、または工事店に依頼してください。

※一般の方の工事は法律で禁止されています。

天井からの出しろ	20mm以上24mm未満			10mm以上14mm未満	
形状	角型引掛シーリング 角型引掛シーリング	丸型引掛シーリング・ローゼット 丸型引掛シーリング フル引掛ローゼット 丸型フル引掛シーリング			埋込引掛ローゼット 埋込ローゼット(耳つき) 埋込ローゼット(耳なし)

<側面図>

天井 出しろ
配線器具



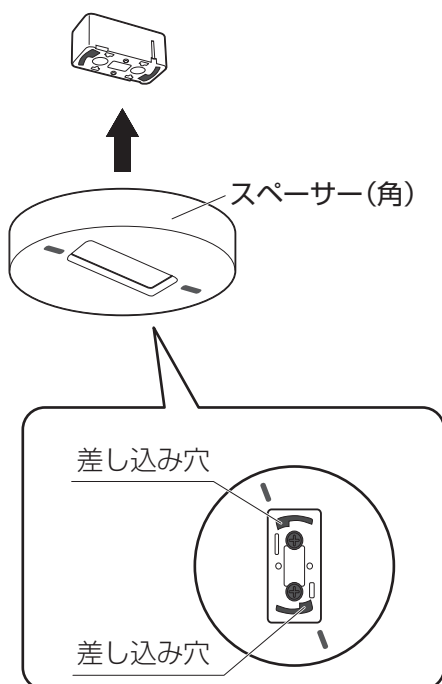
※ローゼットの耳部にねじが付いている場合は、ねじを外してから器具を取り付けてください。

2 スペーサーを取り付ける ※埋込引掛ローゼットの場合は、スペーサーは使用しません。

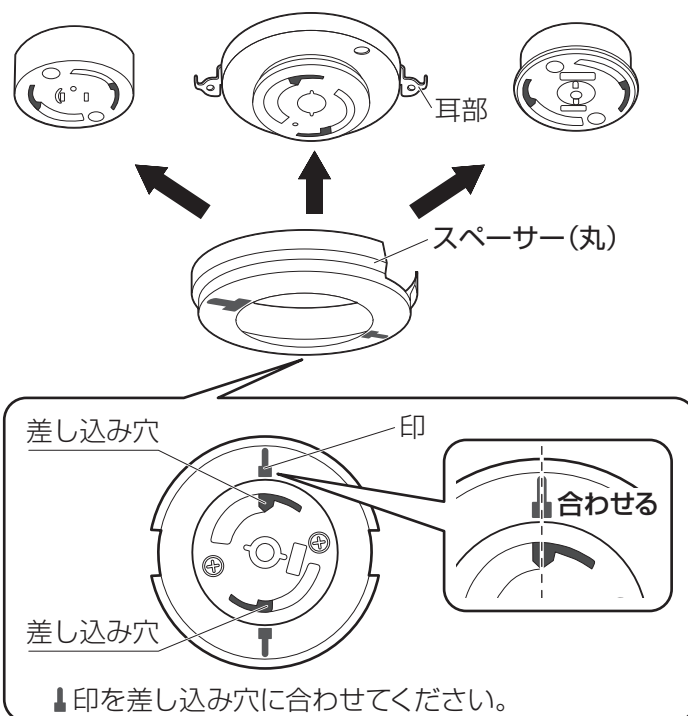
それぞれの配線器具に合ったスペーサーを取り付けることで、器具が取り付けやすくなります。

※一部の配線器具には取り付けられない(ゆるい、きつい)場合があります。その場合には、スペーサーは使用しないでください。

角型引掛シーリングの場合

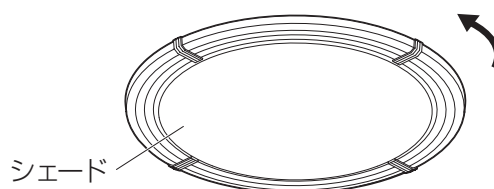


丸型引掛シーリング・ローゼットの場合



3 シェードを取り外す

シェードを反時計回りに回して本体から取り外してください。

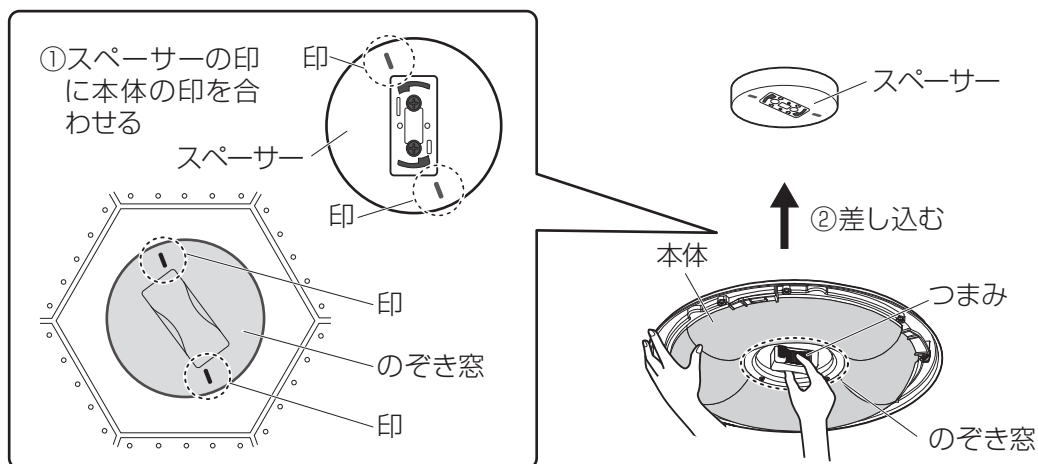


4 本体を取り付ける

①本体の中央のつまみを持ち、のぞき窓から配線器具の端子差し込み穴の位置を確認し、スペーサーの印に本体の印を合わせます。

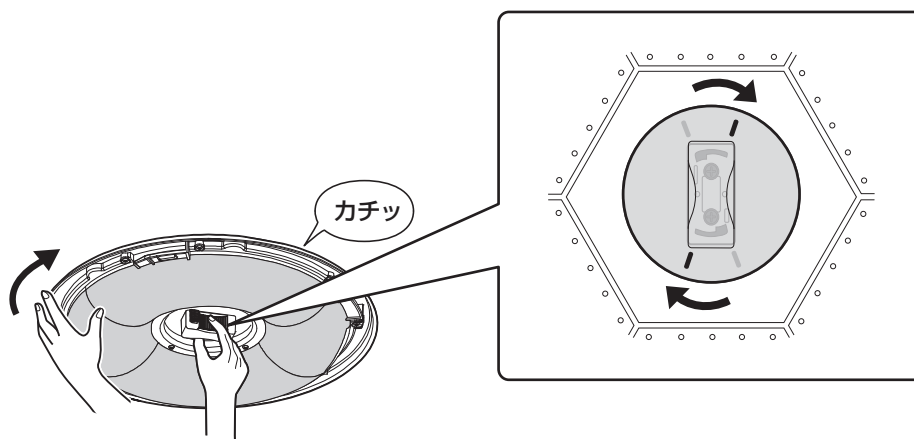
※ スペーサーを使用していない場合は、本体の印を目安に端子を差し込み穴に合わせてください。

②そのまま持ち上げて端子を差し込んでください。



③つまみを時計回りに回します。

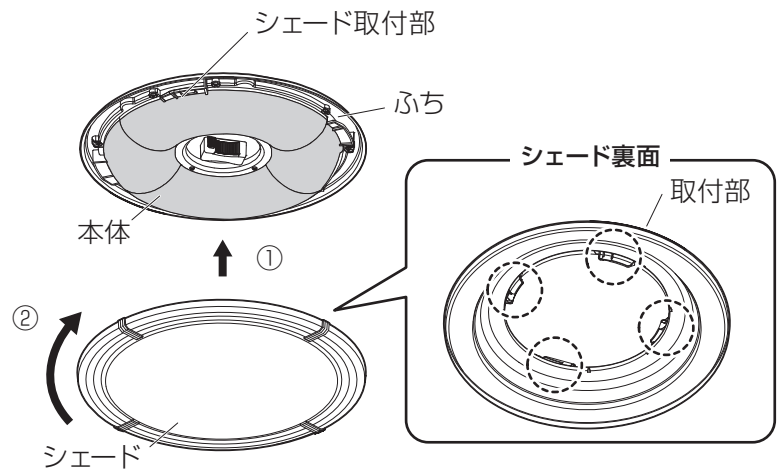
つまみを天井側に押しつけながら「カチッ」と音がするまで回してください。



5 シェードを取り付ける

①シェードの取付部が本体のシェード取付部の間に入るように合わせ、シェードを押しつけながら時計回りに軽く回してください。シェードの取付部が本体のシェード取付部に入ります。

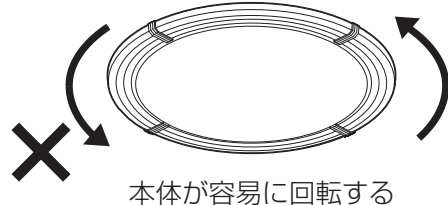
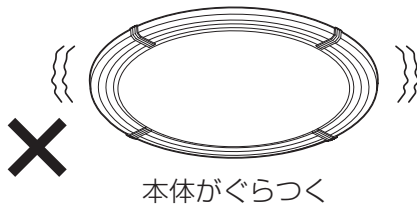
②シェードの回転が止まるまで時計回りに回し、確実に取り付けてください。



警告

シェードは確実に本体に取り付けてください。落下によるけがのおそれがあります。

本体が下図の状態の場合は正しく取り付けられていないため、もう一度取り付けなおしてください。



※ 取り付け後、使用した際に異常が発生した場合は、壁スイッチを切り、本体を外して、取り付けなおしてください。

本体、スペーサーの取り外し

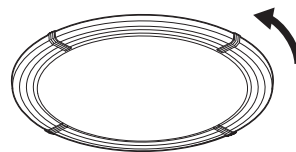


警告

必ず電源を遮断してください。消灯直後は本体や器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから、取り外してください。

1 シェードを外す

シェードを反時計回りに回し、本体から取り外します。



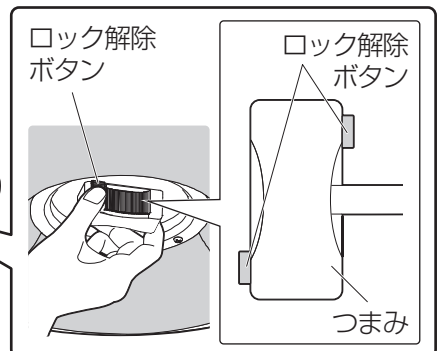
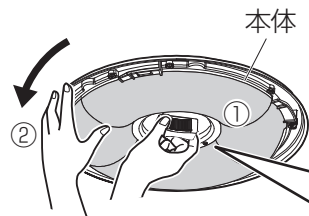
2 本体を外す

- ①つまみの2か所のロック解除ボタンを2つ同時に押しながら、
- ②反時計回りに回して本体を外してください。



注意

本体を片方の手で支えながら外してください。器具の落下によるけがや破損の原因となります。

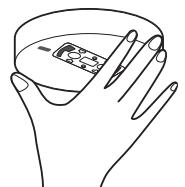


3 スペーサーを外す



注意

本体を外したはすみでスペーサーが落下することがあります。

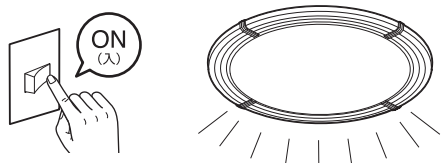


明かりをつける

■壁スイッチで明かりをつける

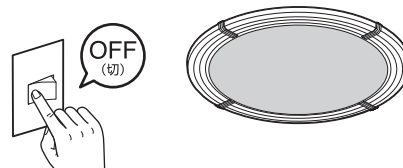
壁スイッチ ON：再現点灯

壁スイッチを切る前の明かりを再現します。



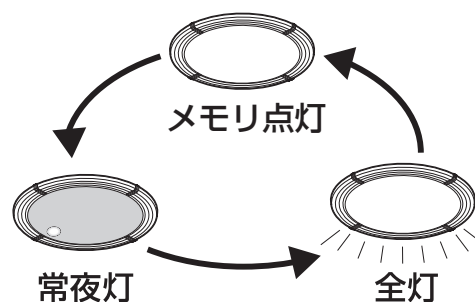
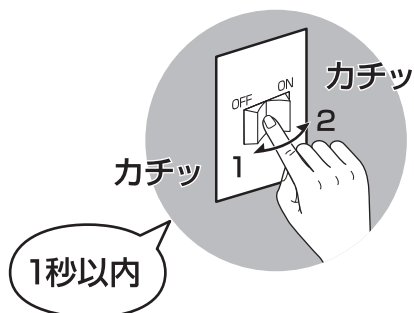
壁スイッチ OFF：消灯

消灯します。



壁スイッチで点灯状態を切り替える

短く（1秒以内）スイッチを切入することで、点灯状態を切り替えることができます。

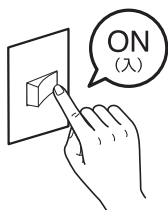


ご注意

- 壁スイッチをONにしても点灯しない場合は、壁スイッチを短く（1秒以内）操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで点灯してください。

■リモコンで明かりをつける

壁スイッチを「ON」にする



シーンボタン【読書】

読書のシーンに合わせた明かりで点灯します。

シーンボタン【食事】

食事のシーンに合わせた明かりで点灯します。

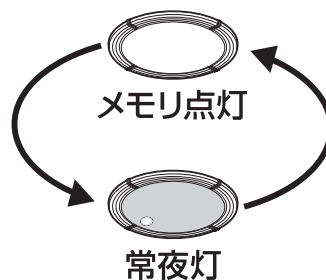


シーンボタン【くつろぎ】

くつろぎのシーンに合わせた明かりで点灯します。

メモリ点灯／常夜灯ボタン

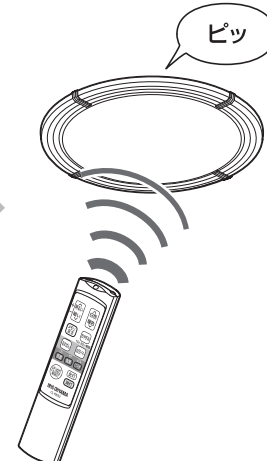
ボタンを押すたびに、点灯モードがメモリ点灯→常夜灯点灯と切り替わります。



全灯ボタン

100%の明るさで点灯します。

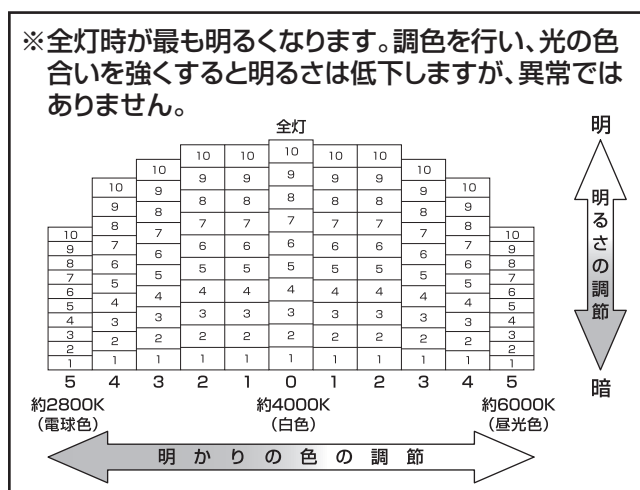
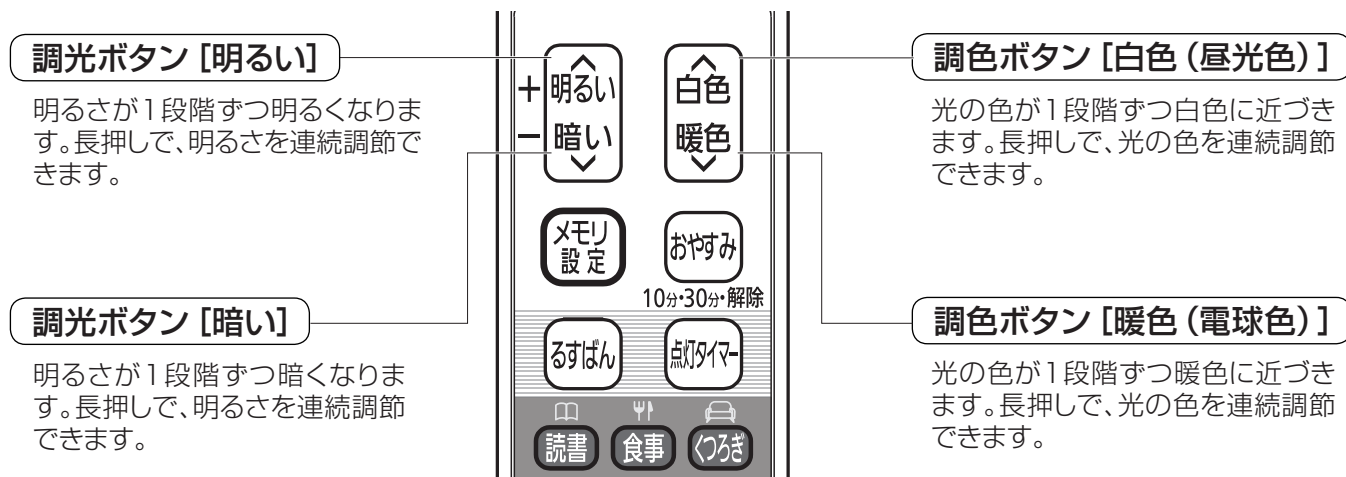
リモコンを本体に向けてボタンを操作する



信号を受信すると本体から「ピッ」という音がします。

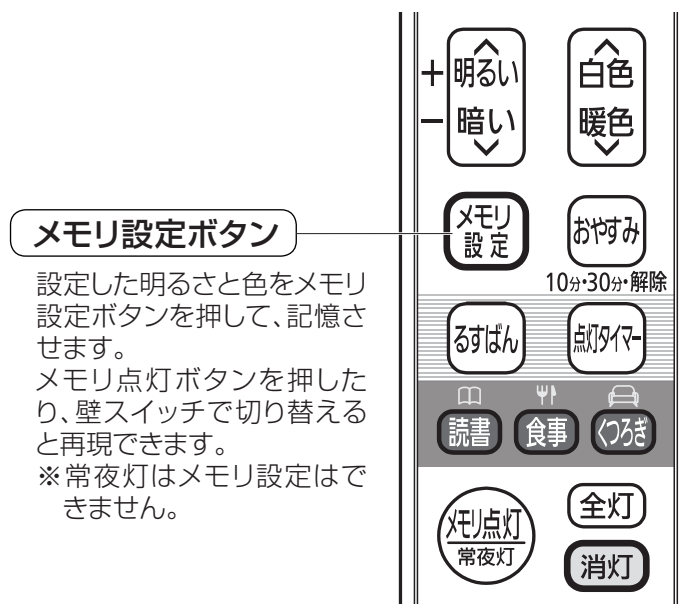
■ 明るさと色を変える

シーリングライトの明るさと色を調節します。
ボタンを押すと、「ピッ」と音がします。
調光範囲、調色範囲をこえると、「ピピッ」と音がします。



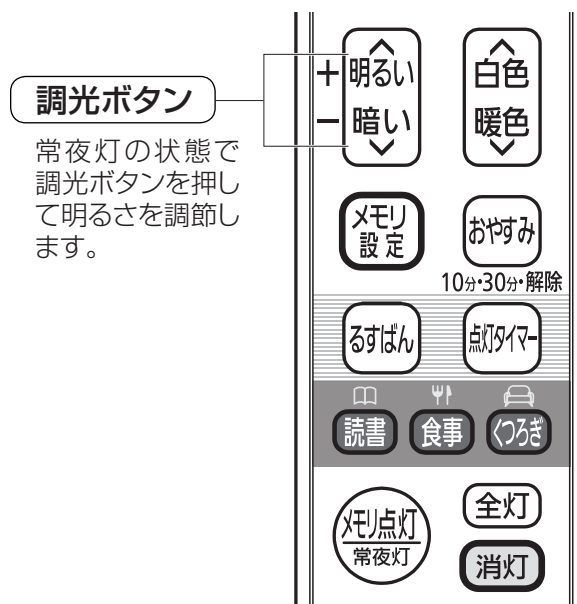
■ 明るさと色を記憶させる

調光ボタン、調色ボタンで設定して、明るさと色を記憶させます。
ボタンを押すと、「ピピッ」と音がします。



■ 常夜灯の明るさを調節する

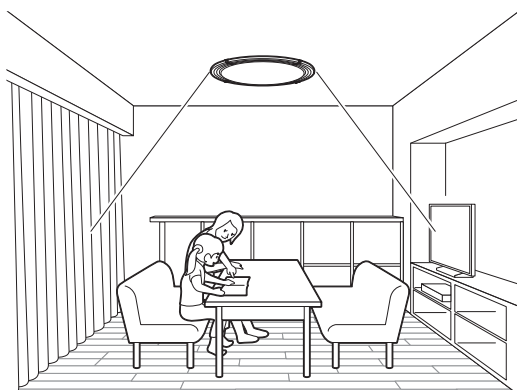
明るさを2段階で調節できます。
常夜灯の明るさは記憶され、次に点灯した時は記憶された明るさで点灯されます。



■ シーンに合わせて明かりを演出する

リモコンのシーンボタンを押すと、設定された明かりが再現されます。

読書:読書に合わせた明かり

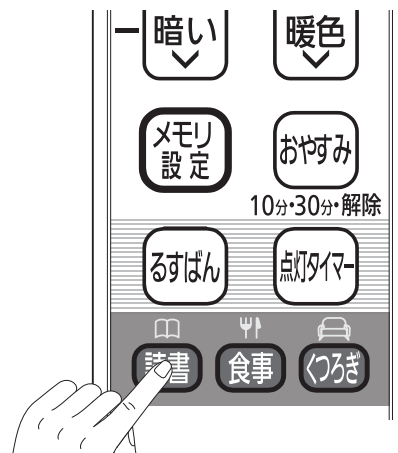


(文字が読みやすい、昼白色相当の明るい光)

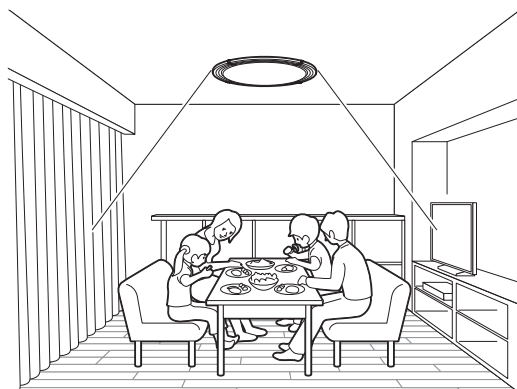
ボタンを押す



ビッ



食事:食事に合わせた明かり



(暖かな電球色相当の明るい光)

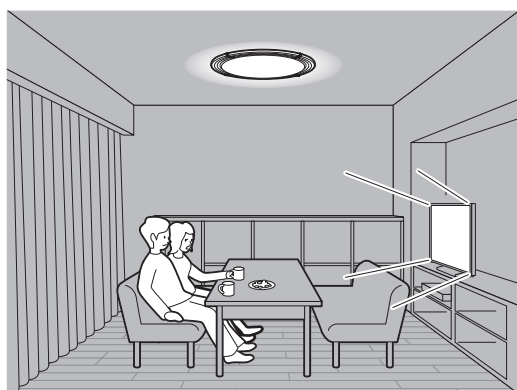
ボタンを押す



ビッ



くつろぎ:くつろぎに合わせた明かり

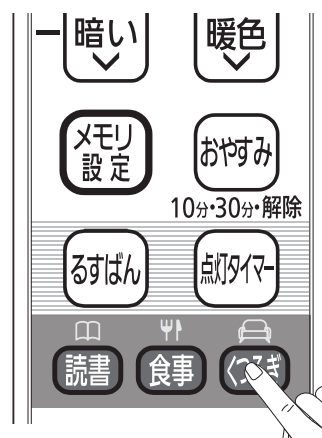


(明るさを抑えた暖かな電球色相当の光)

ボタンを押す

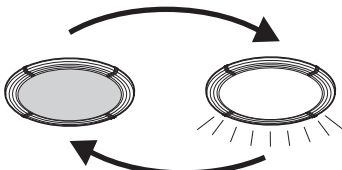
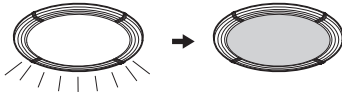
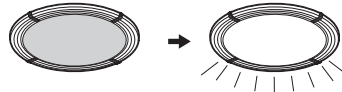


ビッ



タイマーを使う

次の3つのタイマーがあります。

るすばん機能	おやすみタイマー	点灯タイマー
		
留守中でも、点灯と消灯を毎日繰り返します	就寝時などに一回消灯できます	起床時などに一回点灯できます

※ るすばん機能は他のタイマーと組み合わせて使えますが、おやすみタイマーと点灯タイマーは、同時には使えません。

るすばん機能を使う

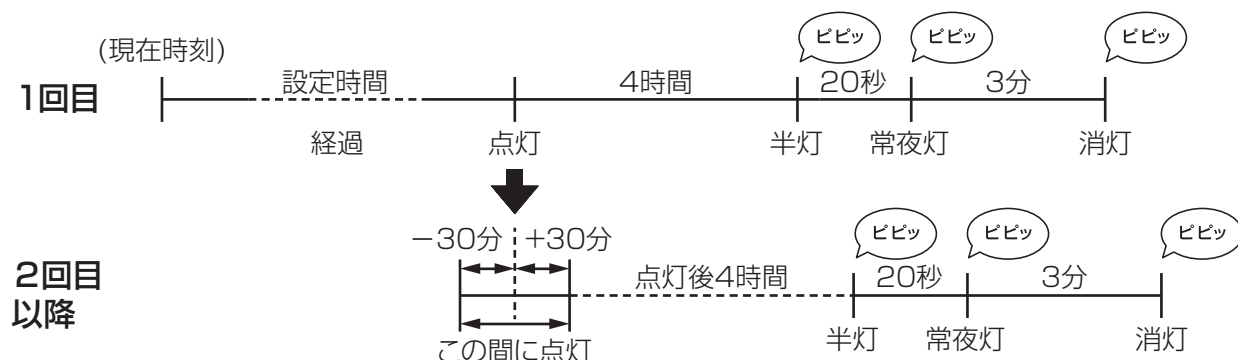
毎日繰り返し、4時間点灯します。(点灯状態はメモリ点灯です。)

2回目以降の点灯時刻は、最初に設定した時刻の前後約30分の間でランダム(無作為)に変わります。



注意

- 器具が自動で点灯・消灯しますので、留守中でも在宅を装うことができますが、住居侵入や盗難などを阻止するものではありません。
万が一被害にあわれても、責任は一切負いかねます。
- 壁スイッチを切ったり、停電したりすると、るすばん機能は解除されます。(設定もリセットされます。)
- 全灯中やシーン点灯中にるすばん機能による点灯時刻になったときは、メモリ点灯には変わらずに、そのままの状態(pointing)で点灯し続けます。
- るすばん機能より、おやすみタイマーあるいは点灯タイマーの設定が優先されます。
- 製品の仕様上、長期間るすばん機能を使うと点灯・消灯時間が大きくずれる場合がありますので、定期的な再設定をおすすめします。



※ 半灯とは、現在点灯している明るさの、約半分の消費電力の明るさです。ただし、現在、最小で点灯しているときの半灯は、最小点灯のままとなります。

※ 常夜灯点灯中に消灯するときはビピッと音がしてお知らせすると共に、常夜灯(3分)→消灯と段階的に変化します。

※ 消灯したくない場合は、変化しているときにお好みの点灯状態にしてください。

設定方法



注意

- るすばんボタンを1回押ただけでは動作しません。
必ず、時間を設定してから、もう1回押してください。
- 設定操作中に、るすばん、+ / 明るい、- / 暗い以外のボタンを押すと、るすばん機能の設定を中止します。

① るすばんボタンを1回押す

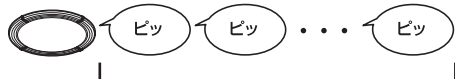
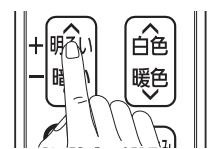
るすばんを1回押す



るすばん機能を設定する状態になります。

②+／明るいボタンをるすばん機能で点灯させるまでの時間数と同じ回数押す

+／明るいを、点灯させるまでの時間数と同じ回数つづけて押す



押すたびに音がします。

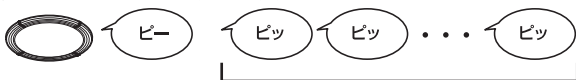
押し過ぎたときは、押し過ぎた時間数と同じ回数－／暗いボタンを押して戻すか、るすばんボタンをさらに2回押して、②(本項目)から時間を設定しなおしてください。

※るすばん、+／明るい、－／暗いボタン以外のボタンを押した場合、るすばん機能の設定を中止しますので、最初から設定しなおしてください。

③もう1回、るすばんボタンを押す

るすばんボタンを押して、タイマー設定を決定します。

るすばんを1回押す



点灯するまでの時間数と同じ回数の音がします。

ピーと音がしたあと、点灯するまでの時間数と同じ回数、ビッと確認のための音がして、設定が完了し、通常の操作状態に戻ります。



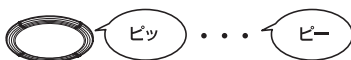
注意

- るすばん機能を設定するときは、1分以内に設定を完了(るすばんボタンをもう1回押す)しないと、解除されます。この場合は、最初から設定しなおしてください。
- 設定できる時間は1時間単位で1時間から24時間までです。この範囲を超えた設定をしようとすると、設定前の時間のままビピッと音がして警告します。(このときの設定時間は、1時間または24時間です。)
- るすばん機能は毎日動作します。期間を決めて動作させることはできません。
- るすばん機能はほぼ24時間に1回、メモリ点灯とその4時間後の消灯を、繰り返し行います。

解除方法

るすばんボタンを長押しする

るすばんを長押しする



ビッと音がして、しばらくしてからピーと音がすると、るすばん機能が解除されます。



注意

- 壁スイッチを切ったり、停電したりすると、るすばん機能は解除されます。(設定もリセットされます。)
- るすばん機能が解除されると、設定時間もリセットされます。

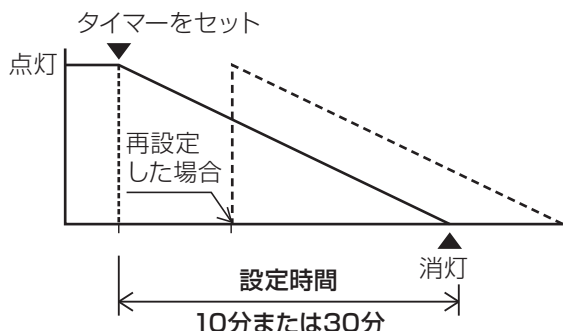
■おやすみタイマーを使う

設定後徐々に暗くなり、設定時間(10分または30分)で消灯します。

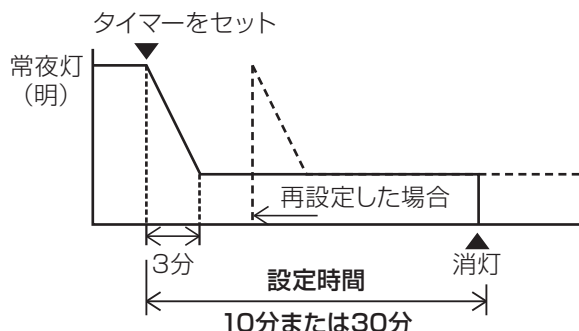
ご注意

- おやすみタイマーと点灯タイマーは、同時には使えません。どちらか、あとから設定した方が動作します。
- 壁スイッチを切ったり、停電したりすると、おやすみタイマーは解除されます。

〈点灯状態からのおやすみタイマー動作イメージ〉



〈常夜灯でのおやすみタイマー動作イメージ〉



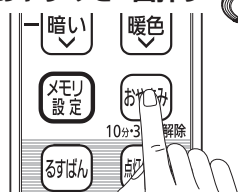
※暗めの常夜灯で設定した場合、明るさは約2分間変わりません。

設定方法

おやすみタイマーで消灯した場合、再点灯させるには、リモコンで点灯させてください。
壁スイッチを短く(1秒以内)入切させて点灯させることもできますが、このときはるすばん機能も解除されますのでご注意ください。

おやすみタイマー10分：おやすみボタンを1回押す

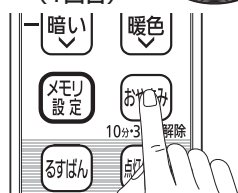
おやすみを1回押す



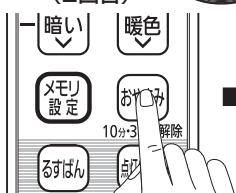
おやすみタイマーが10分に設定され、動作を始めます。

おやすみタイマー30分：おやすみボタンを2回押す

おやすみを押す (1回目)



おやすみを押す (2回目)



おやすみタイマーが30分に設定され、動作を始めます。

おやすみタイマー解除：おやすみボタンを3回押す

おやすみを押す (1回目)



おやすみを押す (2回目)



おやすみを押す (3回目)



お休みタイマーが解除されます。

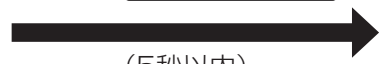
メモリ設定ボタン、おやすみボタン以外のボタン(調光ボタン、全灯ボタンなど)を押してもおやすみタイマーは解除されます。

おやすみタイマー再設定：おやすみボタンを1回または2回押す

おやすみを押す (1回目)



おやすみタイマーが10分に設定され、動作を始めます。



おやすみを押す (2回目)



おやすみタイマーが30分に設定され、動作を始めます。

おやすみタイマーの動作中に再設定する場合は、もう一度おやすみタイマーボタンを押して時間を設定してください。
おやすみタイマー設定前の明るさに戻り、設定された時間で徐々に消灯します。

点灯タイマーを使う

1回だけ、設定した時間にゆっくりと点灯します。

ご注意

- 点灯タイマーは1回だけ動作(メモリ点灯)するものです。
るすばん機能のように自動消灯はせず、点灯したままになります。
(るすばん機能も設定されている場合には、その消灯時刻に消灯します。)
- 点灯タイマーで点灯するか、解除されると、設定時間もリセットされます。

(現在時刻)

設定時間



経過

ゆっくり点灯

※自動では消灯しません。

設定方法

点灯タイマーで点灯した場合、消灯するには、リモコンで消灯してください。
壁スイッチを切って消灯させることもできますが、このときはるすばん機能も解除されますので
ご注意ください。

ご注意

- 点灯タイマーとおやすみタイマーは、同時には使えません。どちらか、あとから設定した方が動作します。
- 点灯タイマーボタンを1回押しただけでは動作しません。必ず、時間を設定してからもう1回押してください。
設定操作中に、点灯タイマー、+ / 明るい、- / 暗い以外のボタンを押すと、点灯タイマーの設定を中止します。

①点灯タイマーボタンを1回押す

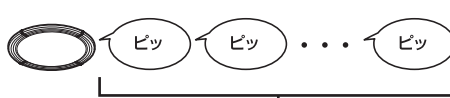
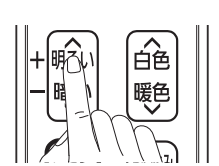
点灯タイマーを1回押す



点灯タイマーを設定する状態になります。

②+ / 明るいボタンを点灯タイマーで点灯させるまでの時間数と同じ回数押す

+ / 明るいを、点灯させるまでの時間数と同じ回数つつけて押す



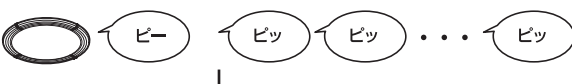
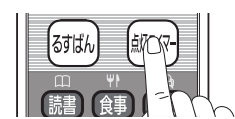
押すたびに音がします。

押し過ぎたときは、押し過ぎた時間数と同じ回数- / 暗いボタンを押して戻るか、点灯タイマーボタンをさらに2回押して、②(本項目)から時間を設定しなおしてください。
※点灯タイマー、+ / 明るい、- / 暗いボタン以外のボタンを押した場合、点灯タイマーの設定を中止しますので、最初から設定しなおしてください。

③もう1回点灯タイマーボタンを押す

点灯タイマーボタンを押して、タイマー設定を決定します。

点灯タイマーを1回押す



点灯するまでの時間数と同じ
回数の音がします。

ピーと音がしたあと、点灯するまでの時間数と同じ回数、ビッと確認のための音が出て、設定が完了し、通常の操作状態に戻ります。

④常夜灯を点灯させるか、消灯ボタンを押す

メモリ点灯/常夜灯を押して常夜灯を点灯させるか、消灯ボタンを押して消灯します。

メモリ点灯/常夜灯を押す



常夜灯を点灯させます。

あるいは

消灯を1回押す



消灯させます。

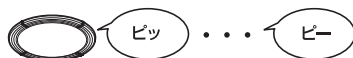
ご注意

- 点灯タイマーを設定するときは、1分以内に設定を完了（点灯タイマーボタンをもう1回押す）しないと、解除されます。この場合は、最初から設定しなおしてください。
- 設定できる時間は1時間単位で1時間から24時間までです。
この範囲を超えた設定をしようとすると、設定前の時間のままピピッと音がして警告します。（このときの設定時間は、1時間または24時間です。）

解除方法

点灯タイマーボタンを長押しする

点灯タイマーを長押しする



ビッと音がして、しばらくしてからピーと音がすると、点灯タイマーが解除されます。

ご注意

- 壁スイッチを切ったり、停電したりすると、点灯タイマーは解除されます。（設定時間もリセットされます。）

お手入れについて

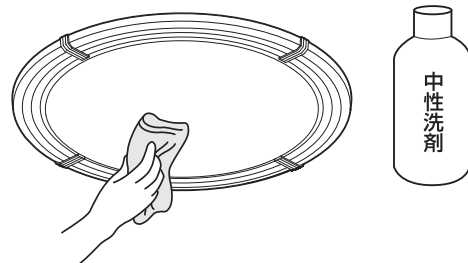


注意

- 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。
- 消灯直後は本体や器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから清掃をしてください。

※照明器具が汚れていると暗くなります。明るく安全に使用していただくため、定期的に清掃することをおすすめします。

1 水で薄めた中性洗剤に、柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取る



2 汚れ落ちを確認後、洗剤分を拭き取る

水に浸して固く絞った布で完全に拭き取ってください。

3 仕上げに、乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取る



注意

器具本体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対におやめください。
火災、感電の原因になります。

- リモコンの送信部は定期的に汚れを拭き取ってください。汚れてリモコンが効きにくくなります。



次のものは使用しない



ベンジン



シンナー



みがき粉



タワシ



スポンジの硬い面

故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状 態	考えられる原因	処 置
リモコンで照明器具が操作できない	● リモコンの電池が正しく入っていない。	● 電池を正しく入れてください。
	● リモコンの電池が消耗している。	● 新しい電池に交換してください。
	● 照明器具とリモコンのチャンネルが合っていない。	● 照明器具とリモコンのチャンネルを合わせてください。(6ページ参照)
照明器具が点灯しない	● 壁スイッチがOFFになっている。	● 壁スイッチをONにしてください。
調色すると暗く感じる	● 光の色合いによって、最大の明るさは異なります。全灯時を100%とすると、電球色、昼光色へ最も調色した時は最大値が約60%の明るさとなりますが故障ではありません。	
壁スイッチをONしても点灯しない	● 本体が「消灯」状態になっている。	● 壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで点灯してください。(10ページ参照)
操作していないのに明かりが消える	● るすばん機能や点灯タイマーが設定されている。	● タイマーの設定通りであれば故障ではありません。
操作していないのに明かりがつく	● 短い停電などにより、「壁スイッチで点灯状態を切り替える」機能が働き、点灯状態が切り替わることがあります。	● ご使用にならない時は、壁スイッチをOFFにしてください。タイマーを設定しているときは除きます。
操作していないのに明かりが変わる	● 壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで切り替えてください。(10ページ参照)	
るすばん機能による点灯が、設定時刻より早かったり遅かったりする	● 2回目以降の点灯時刻は、最初に設定した時刻の前後約30分の間でランダム(無作為)に変わります。	● この範囲であれば、故障ではありません。(機器自体の誤差によるものは除きます。)
点灯タイマーで点灯しない	● 点灯タイマーよりあとにおやすみタイマーを設定した。	● 点灯タイマーとおやすみタイマーは、どちらか、あとから設定操作した方が動作します。どちらか、動作させたいタイマーだけを設定してください。
おやすみタイマーで消灯しない	● おやすみタイマーよりあとに点灯タイマーを設定した。	
明かりが繰り返し変化する	● 工場出荷時の試験点灯モードになっている。	● 壁スイッチを切るか、リモコンのメモリ設定ボタンとおやすみボタンを同時に7秒以上押して、試験点灯モードを解除してください。

それでも解決できないときは・・・お買い上げの販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

仕様

品番	消費電力(器具)	器具光束	定格電圧	定格周波数	待機電力	サイズ	質量		
CL8DL-IN	最大点灯時：43W	3800lm (最大点灯時)	AC100V	50/60Hz	0.5W	φ530×136mm	約1.7kg		
	最小点灯時：5W								
CL12DL-IN	最大点灯時：54W	5000lm (最大点灯時)				φ530×136mm	約1.7kg		
	最小点灯時：5W								
CL14DL-IN	最大点灯時：58W	5600lm (最大点灯時)						φ610×146mm	約2.0kg
	最小点灯時：5W								

※LEDモジュール寿命は40,000時間です。LEDが点灯しなくなるか、光束が70%に低下するまでのいずれか短い時間を推定したものです。製品の寿命を保証するものではありません。

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間内でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、お買い上げ日より3年間です。

24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

■長期ご使用の場合は製品の自主点検をおすすめします。

- スイッチを入れても、ときどき点灯しないことがある。
- 本体や配線部品を動かすと点滅する。
- こげくさい臭いがする。
- 点灯時に漏電ブレーカーが動作することがある。
- 器具取付部などに変形、がたつき、ゆるみなどがある。
- 器具カバーや本体に破損がある。



使用を中止してください

故障や事故の防止のため電源を切り、必ず販売店や電気工事業者に点検をご依頼ください。
左記以外の不具合がある場合も、販売店やアイリスコールにお問い合わせください。

LEDシーリングライト CL8DL-IN / CL12DL-IN / CL14DL-IN

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間		お買い上げ日より:3年間	
年 月 日				ただし、消耗品を除く	
お客様	お名前			※販売店	住所・店名
	ご住所 〒				
	電話() -				
			電話() -		

販売店様へ： ※ 印欄は必ず記入してお渡しください。

保証規定

- 1 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 2 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 3 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- 4 ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 5 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 6 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 7 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

製品に関するお問い合わせは
アイリスコール (通話料無料)

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは
修理専用コール (通話料無料)

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAXでのお問い合わせは (通話料無料) **0800-888-2600**

Webからのお問い合わせは <http://www.irisohyama.co.jp/support/> より
メールフォームにご記入のうえ送信してください

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>